

須磨の秋

名 格助(場所) 係助(区別) 副 名 格助(体修) 名 格助(原因) 名 係助(区別) 副  
須磨に には、 いとど 心づくしの 秋風に、 海は 少し

形(ク・已然) 接助(逆・確定) 名 格助(主格) 名 動(ヤ下二・連体) 格助(引用) 動(ハ四・連用)  
遠けれ ども、 行平の中納言の、 関 吹き越ゆる と 言ひ

助動(過去伝聞・連体) 名 名 係助(区別) 副 形(ク・連用) 動(ヤ下二・連用) 接助  
けむ 浦波、よるよる は、 げに いと 近く 聞こえ て、

形(ク・連用) 形動(ナリ・連体) 名 係助(区別) 動(ラ変・連体) 名 格助(体修) 名 助動(断定・連用)  
またなく あはれなる もの は、 かかる 所の 秋 なり

助動(詠嘆・終止) 名 形動(ナリ・連用) 接助(状態) (接頭) 動(ラ四・已然) 助動(存続・連体)  
けり。 御前に いと 人少なにて、 うち休みわたれ る

名 格助(場所) 副 形動(ナリ・連用) 接助(対象) 動(タ下二・連用) 接助 名 格助(対象) 動(タ下二・連用) 接助 名  
に、 一人 目を 覚まし て、 枕を そばだて て 四方

格助(体修) 名 格助(対象) 動(カ四・連用) 補助(尊敬・連体) 接助 名 副 代名 格助(方向)  
の 嵐を 聞き 給ふ に、 波 ただ ことも に

動(カ変・連体) 名 動(サ変・連用) 接助 名 動(タ上二・終止) 格助(引用) 係助(強意) 動(ヤ下二・未然)  
立ち来る 心地 し て、 涙 落つ と かも おぼえ

助動(打消・連体) 接助(逆・確定) 名 動(カ四・連体) 副助(程度) 格助(結果) 動(ラ四・連用) 助動(完了・連用)  
ぬ に、 枕 浮く ばかり に なり くに

助動(詠嘆・終止) 名 格助(対象) 副 動(サ四・連用) 補助(尊敬・已然) 助動(完了・連体) 格助(主格)  
けり。 琴を 少し かき鳴らし 給へ る が、

代名(接尾) 副 形(ク・連用・ウ音便) 動(ヤ下二・已然) 接助(順・確定) 動(サ四・連用) 補助(尊敬・連用) 接助  
我ながら いと すごう 聞こゆれ ば、 弾きさし 給ひ て、

動(バ上二・連用) 接助 動(カ四・連体) 名 格助(対象) 動(ハ四・連体) 名 係助(区別) 動(ハ四・連体)  
恋ひわび て 泣く 音に まがふ 浦波 は 思ふ

名 格助(起点) 名 係助(疑問) 動(カ四・終止) 助動(原因推量・連体)  
方より 風 や 吹く らむ

格助(引用) 動(ハ四・連用) 補助(尊敬・已然) 助動(完了・連体) 接助 名 動(カ四・連用) 接助  
と うたひ 給へ る に、 人々 おどろき て、

形(ク・連用・ウ音便) 動(ヤ下二・連体) 接助 動(バ四・未然) 助動(可能・未然) 接助(打消)  
めでたう おぼゆる に、 忍ば れ へ

形(ク・連用・ウ音便) 動(ワ上二・連用) 接助(反復) 名 格助(対象) 形動(ナリ・連用) 動(サ四・終止)  
あいなう 起きぬ つつ、 鼻を 忍びやかに かみわたす。

副 副 動(ハ四・終止) 助動(現在推量・連体) 代名 格助(対象) 名 名 格助(抛所) 動(ラ四・連用)  
「げに いかにか 思ふ わ が 身 一つ に、 より、

名 名 形(ク・連用) 名 格助(対象) 動(カ下二・連用) 接助(反復)  
親 はらから、 かた時 たち離れがたく、 ほど に つけ

動(ハ四・終止) 助動(現在の婉曲・連体) 名 格助(相手) 動(ラ下二・連用) 接助 副 副 動(ハ四・已然)  
思ふ 家 を 別れ て、 かく 惑ひ合へ

助動(存続・連体) 格助(引用) 動(尊敬・連体) 接助 形(シク・連用) 接助 副 副 動(マ四・連体)  
る。 と おぼす に、 いみじく て、 かく 思ひ沈む

名 格助(対象) 形(ク・終止) 格助(引用) 動(ハ四・終止) 助動(現在推量・終止) 格助(引用) 動(尊敬・已然) さまを、心細し と 思ふ らむ。「

接助(順・確定) 名 係助(区別) 副 名 接頭(動(尊敬・連用)) ば、 昼 は 何くれと たはふれごと うちのたまひ

動(サ四・連用) 形動(ナリ・連体) 名 格助(状態) 副 格助(体修) 名 格助(対象) 紛らはし、 つれづれなる ままに、 いろいろ の 紙 を

動(ガ四・連用) 接助(反復) 名 格助(対象) 動(サ変・連用) 補助(尊敬・連用) 形(シク・連体) 名 継ぎ つつ 手習ひ を し 給ひ、 めづらしき さま

助動(断定・連体) 名 格助(体修) 名 副助(例示) 格助(場所) 名 格助(体修) 名 接尾) 格助(対象) なる 唐 の 綾 など に さまさま の 絵ども を

動(バ四・連用) 補助(尊敬・已然) 助動(存続・連体) 名 格助(体修) 名 接尾) 副助(例示) 副 書きすさび 給へ 給へ る、 壯風 の おもてども など、 いと

形(ク・連用) 名 動(ラ変・終止) 名 格助(主格) 動(ラ四・連用) 補助(謙讓・連用) 助動(過去・連体) めでたく、 見どころ あり。 人々の 語り 聞こえ し

名 名 格助(体修) 名 格助(対象) 形動(ナリ・連用) 動(尊敬・連用) 助動(過去・連体) 接助(逆・確定) 海山 の ありさま を、 ばるかに おぼしやり し を、

接頭) 名 格助(対象) 形(ク・連用) 接助(状態) 係助(区別) 副 動(バ四・未然) 助動(打消・連体) 名 御目 に 近く て ば、 げに 及ば ぬ の 磯

格助(体修) 名 形(ク・連用) 動(マ下二・連用) 補助(尊敬・已然) 助動(存続・終止) 代名 格助(体修) の たたずまひ、 二なく 書き集め 給へ 給へ り。 の こ の

名 格助(体修) 名 格助(内容) 動(サ変・終止) 助動(婉曲・連体) 名 副助(例示) 格助(対象) ころ の 上手 に す める 千枝、 常則 など を

動(尊敬・連用) 接助 名 動(謙讓・未然) 助動(使役・未然) 終助(願望) 格助(内容) 召し て、 作り給 つかうまつら せ ばや。 と、

動(ハ四・已然) 助動(存続・終止) 形(シク・連用・ウ音便) 形(ク・連体) 接頭) 名 格助(原因) 心もとながり合へ り。 なつかしう めでたき 御さま に、

名 格助(体修) 名 動(ラ下二・連用) 接助 形(ク・連用・ウ音便) 動(ラ下二・連用) 動(謙讓・連体) 世 の もの思ひ 忘れ て、 近く 慣れ つかうまつる

格助(対象) 形(シク・連体) 名 格助(資格) 名 副助(程度) 係助(強意) 副 動(謙讓・連用) を うれしき こと にて、 四、五人 ばかり ぞ つと 候ひ

助動(過去・連体) ける。

名 格助(体修) 名 副 動(ラ下二・連用) 形(ク・連体) 名 格助(時間) 前裁 の 花 いろいろ 咲き乱れ、 おもしろき 夕暮れ に、

名 動(ラ四・未然) 助動(自発・連体) 名 格助(対象) 動(ダ下二・連用) 補助(尊敬・連用) 接助 動(マ四・連用) 海 見やら るる 廊 に 出で 給ひ 給ひ たたずみ

補助(尊敬・連体) 接頭) 名 格助(主格) 形(シク・連用・ウ音便) 形動(ナリ・連体) 名 名 係助(強意) 給ふ 御さま の、 ゆゆしう 清らなる こと、 所がら は

副 代名 格助(体修) 名 格助(体修) 名 格助(引用) 動(ヤ下二・連用) 補助(尊敬・未然) まして こ の 世 の もの と 見え 給は

助動(打消・終止) 形(ク・連体) 名 格助(同格) 形動(ナリ・連体) 名 副助(例示) 動(尊敬・連用) 接助 ず。 白き 綾 の なよよかなる、 紫苑色 など 奉り て、

形動(ナリ・連体) 接頭) 名 名 形(ク・連用) 接頭) 動(ラ下二・連用) 補助(尊敬・已然) 助動(存続・連体) こまやかなる 御直衣、 帯 しどけなく うち乱れ 給へ 給へ る

接頭) 名 助動(断定・連用) 接助(状態) 名 格助(引用) 動(ラ四・連用) 接助

御さま 名 くに て、 「釈哥牟尼仏弟子。」と 名のり て、  
形動(ナリ・連用) 動(マ四・連用) 補助(尊敬・已然) 助動(存続・連体) 副 名 格助(場所) 動(ラ四・未然)  
ゆるるかに 読み 読み 給へ る、 また 世に 知ら  
助動(打消・連用) 動(ヤ下二・終止) 聞こゆ。

名 格助(通過) 名(接尾) 格助(主格) 動(ラ四・連用) 接助 動(カ四・連体) 副助(例示) 係助(強意)  
沖より 舟ども のの 歌ひののしり て 漕ぎ行く など も

動(ヤ下二・終止) 形動(ナリ・連用) 副 形(ク・連体) 名 格助(主格) 動(バ四・已然) 助動(存続・連体)  
聞こゆ。 ほのかに、 ただ 小さき 鳥 の 浮かべ る

格助(引用) 動(ラ四・未然) 助動(自発・連体) 係助(同趣) 形動(ナリ・連体) 接助(添加) 名 格助(主格)  
と 見やら るる も、 心細げなる に、 雁 の

動(ナ下二・連用) 接助 動(カ四・連体) 名 名 格助(体修) 名 格助(対象) 動(ハ四・已然) 助動(存続・連体)  
つらね て 鳴く 声、 槇 の 音に まがへ る

格助(対象) (接頭) 動(マ下二・連用) 補助(尊敬・連用) 接助 名 格助(主格) 動(ラ下二・連体) 格助(対象)  
を、 うちながめ 給ひ 涙 の こぼるる を

(接頭) 動(ハ四・連用) 補助(尊敬・已然) 助動(存続・連体) (接頭) 名 形(ク・連体) (接頭) 名 格助(対象)  
かき払ひ 給へ る 御手つき、 黒き 御数珠 に

動(ヤ下二・連用) 補助(尊敬・已然) 助動(存続・連体) 係助(区別) 名 格助(体修) 名 形(シク・連体) 名  
映え 給へ る は、 ふるさと の 女 恋しき 人々

格助(体修) 名 副 動(マ四・連用) 助動(完了・連用) 助動(過去・終止)  
の 心、 みな 慰み に けり。

名 係助(提示) 形(シク・連体) 名 格助(体修) 名 助動(断定・已然) 係助(疑問) 名 格助(体修) 名  
初雁 は 恋しき 人の づら なれ や 旅 の 空

動(バ四・連体) 名 格助(主格) 形(シク・連体)  
飛ぶ 声 の 悲しき

格助(引用) 動(尊敬・已然) 接助(順・確定) 名  
と のたまへ ば、 良清、

(接頭) 動(ナ下二・連用) 名 格助(体修) 名 係助(強意) 動(ヤ下二・連体) 名 係助(区別) 代名  
かきつらね 昔 の こと ぞ 思ほゆる 雁 は ぞ

格助(体修) 名 格助(体修) 名 助動(断定・未然) 助動(打消・已然) 接助(逆・確定)  
の 世 の 友 なら ね ども

名  
民部大輔、

名 格助(原因) 名 格助(対象) 動(タ下二・連用) 接助 動(カ四・連体) 名 格助(対象) 名 格助(体修)  
心 から 常世 を 捨て 鳴く 雁 を 雲 の

名 格助(内容) 係助(強意) 動(ハ四・連用) 助動(過去・連体) 終助(詠嘆)  
よそ に 格助(内容) 係助(強意) 動(ハ四・連用) 助動(過去・連体) 終助(詠嘆)  
も 思ひ ける かな

名  
前右近将監、

名 動(タ下二・連用) 接助 名 格助(体修) 名 助動(存在・連体) 名 係助(添加) 名  
「常世」 出で 旅 の 空 なる かりがね も つら

格助(対象) 動(ラ下二・未然) 助動(打消・連体) 名 係助(強意) 動(マ四・連体)  
に 格助(対象) 動(ラ下二・未然) 助動(打消・連体) 名 係助(強意) 動(マ四・連体)  
おくれ ぬ ほぞ 慰む

名 動(サ四・連用) 接助「て」+係助「は」(順・仮定) 副 動(丁寧・未然) 助動(反実仮想・連体) 格助(引用)  
友 惑はし ては、 いかに 侍ら まし。」 と

動(ハ四・終止) 名 格助(主格) 名 格助(結果) 動(ラ四・連用) 接助 動(ラ四・連用) 助動(過去・連体)  
動(ハ四・終止) 名 格助(主格) 名 格助(結果) 動(ラ四・連用) 接助 動(ラ四・連用) 助動(過去・連体)

言ふ。親の常陸にたりて下りし  
格助(対象)係助(強意)動(ハ四・未然)助動(受身・未然)接助(打消)動(謙讓・已然)助動(完了・連体)  
に誘はれ  
助動(断定・連用)助動(過去・終止)名格助(場所)係助(区別)動(カ四・終止)助動(推量・連体・撥音便)  
なりけり。下には思ひくたくべか

助動(推定・已然)接助(逆・確定)形動(ナリ・連用)動(サ四・連用)接助 形(ク・連体)名 格助(状態)  
めれど、誇りにもてなし、つれなきさまに

動(カ四・終止)  
しありく。

名 格助(主格)副 形動(ナリ・連用)接助(ダ下二・連用)助動(完了・連体)接助(順・確定)名  
月のいと はなやかに さし出で たる に、 今宵

係助(区別)名 助動(断定・連用)助動(詠嘆・終止)格助(引用)動(尊敬・連用)接助 名 格助(体修)  
は 十五夜 なり けり と おぼし出で て、 殿上の

御遊び 名 形(シク・連用)名 動(マ下二・連用)補助(尊敬・終止)助動(現在推量・終止)  
恋しく、 ところどころ ながめ 給ふ らむ

終助(念押し)格助(引用)動(ラ四・連用)補助(尊敬・連体)格助(対象)動(カ下二・連用)接助 係助(強意)名  
かし と 思ひやり 給ふ に、 つけ て も、 月

格助(体修)名 副助(限定)動(ラ四・未然)助動(自発・連用)補助(尊敬・終止)名 格助(体修)名 名  
顔のみ まもら れ 給ふ。 二千里 (の) 外 故人

格助(体修)名 格助(引用)動(サ変・連用)補助(尊敬・已然)助動(完了・連体)名 格助(用修)名  
(の) 心。と 誦じ 給へ る、 例 の 涙

係助(強意)動(マ下二・未然)助動(可能・未然)助動(打消・終止)名 入道の宮、 格助(主格)名 係助(疑問)  
も とどめ られ ず。 霧 や

動(タ下二・連体)格助(引用)動(尊敬・連用)助動(過去・連体)名 動(ハ四・未然)助動(婉曲・連体)名  
隔つる。と のたまはせ し ほど、言は む 方

形(ク・連用)形(シク・連用)名 格助(体修)名 動(ダ下二・連用)補助(尊敬・連体)接助 副  
なく 恋しく、 折々の こと 思ひ出で 給ふ に、 よよと

動(カ四・未然)助動(自発・連用)補助(尊敬・終止)名 動(カ下二・連用)補助(丁寧・連用)助動(完了・終止)  
泣か れ 給ふ。 「夜 更け 侍り ぬ。」

格助(引用)動(謙讓・已然)接助(逆・確定)副 動(ラ四・連用)補助(尊敬・未然)助動(打消・終止)  
と 聞こゆれ ど、 なほ 入り 給は ず。

動(マ上二・連体)名 係助(強意)副 動(マ四・連体)動(ハ四・未然)助動(婉曲・連体)名  
見る ほどぞ しばし 慰む めぐりあは む 用

格助(体修)名 係助(提示)形動(ナリ・已然)接助(逆・確定)  
の 都 は はるかなれ ども

代名 格助(体修)名 名 格助(主格)副 形(シク・連用・ウ音便)名 副助(例示)動(サ変・連用)  
その 夜の 上の いと なつかしう 昔物語 など し

補助(尊敬・連用)助動(過去・連体)接助(接頭)名 格助(主格)名 格助(対象)動(ナ上二・連用)補助(謙讓・連用)  
給ひ し 御さま の、 院に 似 奉り

補助(尊敬・已然)助動(存続・連用)助動(過去・連体)係助(添加)形(シク・連用)動(ダ下二・連用)  
給へ り し も、 恋しく 思ひ出で

補助(謙讓・連用)補助(尊敬・連用)接助 名 格助(体修)名 係助(提示)名 代名 格助(場所)  
聞へ 給ひ 給ひ て、 「恩賜 の 御衣 は 今 (こゝ) に

動(ラ変・終止)格助(引用)動(サ変・連用)接助(反復)動(ラ四・連用)補助(尊敬・連用)助動(完了・終止)  
あり。と 誦じ 給ひ 入り 給ひ ぬ。

名 係助(提示)副 名 動(タ四・未然)助動(打消・連用)名 格助(場所)動(カ四・連用)

御衣は

まことに身放た

ず、

傍らに

置き

給へ  
補動(尊敬・已然) 助動(存続・終止)

形(ク・終止) 格助(引用) 副助(限定) 副  
名  
係助(強意) 動(ヤ下二・未然) 接助(打消) 副  
左右に

憂し  
と  
のみ  
ひとへに  
もの  
は  
思ほえ  
で  
も  
ぬるる  
袖  
かな

係助(同趣) 動(ラ下二・連体) 名 終助(詠嘆)